

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：2023年12月22日

事業所名：みらいポケットにしわき

サービス種類：児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価 (%)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースを確保している。 また、感染対策を継続し食堂を使用せず、密にならないように配慮している。	はい 94 どちらともいえない 6 いいえ 0 わからない 0	フロアも広く、和室・個室もあるので広々と利用できていると思う。
	2 職員の適切な配置	児童発達支援・放課後等デイサービス共に配置基準を満たし、且つ、十分な活動支援を行えるように職員を配置している。	はい 88 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 12	今後も適切な職員数を配置していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	その日のスケジュールを児童発達支援では絵カード・放課後等デイサービスでは文字と時間で視覚化し提供すると共に、個々の特性に応じて対応している。	はい 88 どちらともいえない 6 いいえ 0 わからない 6	今後も同様に整備していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	児童発達支援・放課後等サービスそれぞれで環境配置を変更し生活空間の確保を行っている。 また季節に応じた壁面装飾をしている。	はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0	掃除は毎日かささず行っている。併せて、危険箇所の有無の確認及び点検を行っている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	半期に1度目標設定をし、それについて毎月進捗状況を報告している。		支援手法等の情報共有を行い、全職員が積極的に参画している。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在、実施していない。		今の所、検討していない
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回 職員の勉強会を実施。多彩な情報を取り入れるようにしている。 外部研修にも参加している。		今後も毎月開催すると共に、内・外部を問わず、研修等に積極的に参加し、知識・意識向上につなげていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	少なくとも半年に1回以上モニタリングを行い、ニーズや課題の分析を行った上で計画を作成している。		全利用者に満足していただけるように今回も分析を行い計画を作成する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの状況に応じて、発達支援を中心とした計画を作成している	はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0	今後も計画に基づき、個別活動と集団活動を設定する中で、個々に応じた方法で活動提供を行っていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	利用者毎に計画案を作成。案を元に全職員に意見を聞き、最も必要な目標・内容を検討し支援計画に記載している。		今後も同様に行う。

4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	都度計画の確認を行った上で個別課題や集団活動の設定を行い、支援している。また支援者間で適切な支援が出来るようその都度情報共有している。	はい 95 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 5	今後も計画に沿った適切な支援が行えるよう、支援者間で情報共有していく。
5	チーム全体での活動プログラムの立案	全職員で活動内容の案を出し合っている。		翌月の活動内容を前月中に考案している。今後も様々な活動プログラムを提供出来るように全職員で立案していく。
6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・休日に合わせた支援内容を考え、提供している。	はい 95 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 5 ご意見：季節に合った活動をしたり活動のバリエーションも豊富でいつも楽しい経験をさせてもらっていて感謝です。	今後も同様に行う。
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動内容の偏りがないように、日替わりで職員が担当し同じ内容にならないように工夫している。		今後も同様に行う。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	活動内容や担当者を表にすることで、各利用者に応じた準備や細やかな支援が出来る様に配慮している。また適宜個別で話し合いをし、適切な支援が行えるように努めている。		今後も支援開始までに全職員が内容把握し役割分担の確認ができるよう徹底する。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日の振り返りを行い、気になった点は都度共有している。不在職員にも伝わるよう業務日誌に記入し情報共有を行っている。		全職員周知に努めていく。
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日連絡帳に記入し、複写を保管すると共に、別紙にて活動内容・その日の様子等を記入し保管している。		今後も記録の徹底、支援の検証を継続していく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	個々に応じて3ヶ月～6ヶ月に1度、モニタリングを実施し計画の見直しを行っている。		今後も適宜モニタリングを開催し計画の見直しを行う。またご要望に応じて短期間での実施も検討していく。

関係機関との連携

1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理者がサービス担当者会議に参画している。適宜保育士・児童指導員も参画している。		今後も同様に参画する。
2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	受け入れ実績なし。		
3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	受け入れ実績なし。		
4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じてサポートファイルの書類作成・提供を行っている。		必要に応じて行う。
5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	直接的な情報提供を実施したことがない。		必要に応じて行う。
6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	外部研修に参加すると共に、場合に応じてオンライン研修も受講している。		今後も研修受講の促進を行う。
7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していないが、地域資源の活用は行っている。	はい 35 どちらともいえない 6 いいえ 6 わからない 53 ご意見:障害のない子どもたちと交流会などしているのかわからない	実施した際は、連絡帳や毎月の通信・SNSを通じ、情報発信を行えるようにする。
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域で開催された病院フェスタや音楽会には参加させていただいた。 地域ボランティアの受け入れもおこなっている。		
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時にはもちろん、ご利用後も必要に応じて説明を行っている。	はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0	今後も適宜説明を行う。

保護者への説明責任・連携支援

2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	対面での説明時には計画を示しながら説明を行っている。郵送等の場合は別紙を添付し説明を行うようにしている。	はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0	今後も支援内容の丁寧な説明に努める。
3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	臨床心理士による相談窓口を設けている。	はい 65 どちらともいえない 0 いいえ 12 わからない 23	多くの保護者の方に参加いただける企画を検討したい。
4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時等対面にて実施している。	はい 94 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 6	今後も同様に共通理解の徹底を行う。
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	対応方法を検討し連絡帳や口頭にて助言している。 また保護者から相談を受けた際、支援職員だけでなく臨床心理士の意見も聞いて保護者へ伝えている。	はい 88 どちらともいえない 6 いいえ 0 わからない 6 ご意見：年2回ありますが、もっとあっても良いと思います。	今後も適宜、同様に実施する。 またご要望に応じて短期間での実施も検討していく。
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会の実施ができなかった。	はい 35 どちらともいえない 18 いいえ 12 わからない 35 ご意見：・前は参加者が少なかったので次回は多くの保護者の方と交流出来たらと思います ・オープンスクールなど普段の放デイの様子が見れたり保護者の交流会があれば嬉しい	ご意見をいただいたように多数の保護者の参加ができるように、日程調整を行いたい。 また、いつでも見学に来ていただけたら、見学日を設定する等検討していく。
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時には苦情対応者設置の旨を説明。今年度については苦情(相談含む)2件。	はい 71 どちらともいえない 6 いいえ 0 わからない 23	相談・苦情に対しては対応経過を記録し、同様の事態にならないように再発防止に努めていく。
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々に応じ、口頭・連絡帳・図示・イラストを交えての意思疎通を実施。他に電子メールや文書でのやりとりも行っている。	はい 82 どちらともいえない 12 いいえ 0 わからない 6	今後も個々に応じたやりとりを実施する。

	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回のお便り配布・SNSの更新を行い1ヶ月の活動予定や活動の様子等を伝えている。	はい 94 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 6 ご意見:活動の様子が動画等でも見られたら良いなあと思います	月末には、翌月の活動内容をお便り・SNSにて掲載するよう努めている。 動画配信については個人情報保護の観点から今の所困難であるが、良い方法がないか検討する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人が特定されるリスクのある書類については、施錠できる場所、パスワードロックをかけたコンピュータで管理するなど、細心の注意を払っている。	はい 94 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 6	今後も取り扱いには十分注意を払う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルをファイルし保管。会議時等、保管場所や内容の確認を行っている。保護者に対しては適宜周知に努めている。	はい 88 どちらともいえない 6 いいえ 0 わからない 6	職員全員において内容周知に努める。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	児童発達支援・放課後等デイサービスそれぞれにおいて、年2回の避難訓練を実施している。	はい 65 どちらともいえない 6 いいえ 0 わからない 29 ご意見:避難訓練などがいつ行われているのかわからない	今後も火災・地震災害を想定した訓練を検討し 実施の際には、連絡帳・お便り等で保護者への周知を図る。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止についての研修を実施している。		今後も同様に行う。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ず拘束を行う場合は、保護者と十分な話し合いの場を持った上、個別支援計画に記載。保護者に十分説明を行うと共に 拘束理由・時間と内容の記録を保管している。		身体拘束を行わなくてもよい方法を、家庭と連携しながら検討していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者に確認を行った上でアレルギー物質を確認し対応している。		今後もアレルギー物質にふれることなく安全に過ごせるよう対応する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例の報告書の作成を行い、全職員で共有している。また数ヶ月後に対策がしっかりと実施出来ているか話し合う機会を設けている。		アクシデント事案になる前の「気づき」を早い段階で出来る様に全職員で取り組んでいく。